

# あいめーる

SUMMER

## スポーツ大会特集 愛隣館通信

平成 27 年 8 月 1 日発行  
発行  
社会福祉法人 愛隣園  
障害者支援施設 愛隣館  
発行責任者 三浦貴子  
編集 広報チーム  
キャリアページョン

〒861-0551  
熊本県山鹿市津留 2022  
TEL 0968-43-2771  
FAX 0968-43-2793  
http://aileans.com  
E-mail  
ailinkan@magma.jp



(写真:熊本市総合体育館にて白熱する決勝戦)

参加された永田さんは、「今回が二回目の参加でした。本番では少し緊張しましたが優勝できて嬉しかったです」と、喜びの声を伝えられました。



朋暁苑(幹事施設)より表彰:吉里さんと藤井

利用者と職員ของทีมワークが良く、又、皆が楽しく風船バレーボールが出来た事が優勝に繋がったのではないかと思います。

五月二十一日(木)に熊本市総合体育館で行われた熊本県の施設親善風船バレーボール大会に利用者の河津さん、手島さん、永田さん、吉里さんの四名、職員では隈部、鈴木、藤井、看護師の四名、合計八名で参加しました。練習がほとんど出来ずに本番を迎え、試合前に作戦会議をして試合に臨みました。

施設親善  
風船バレーボール大会優勝  
ケア課  
隈部 賢治



館長

三浦 貴子

ほればれする程かっこいい

昭和六十三年施設開設の頃入居されたOさんの奥様。「飲みに行く時はパリッとスーツ着て、なんさま、ほればれする程かっこ良かったとですよ」と、夫Oさん当時四十一才を称された。

くも膜下出血で常時介護の状況となり入居。その後二十八年間、奥様の夫を想う気持ちはそのままにバスを乗り継いで二時間の施設までの道をよくよく通われた。

奥様がご自身も一度は大病を乗り越えられたが、近年は身体が弱られていた。Oさんは今年、入院後に退院できる可能性が無い状況となり、ご家族で退所の手続きを取られた。

ご容態を押して挨拶に来られた奥様と向かい合くと、Oさんがすべそにおられる感じがする。お互いに涙が出る程、長い時間のお付き合いをさせて頂いた。それから一ヶ月を待たずOさんはご逝去。ご冥福を祈るばかりである。

平成二十七年春の叙勲。デイケアご利用の瀬口さんが、消防危険業務従事者叙勲で、瑞宝単光章を受章された。五月二十二日県知事の伝達報告式は、ご利用者と館長一緒に受章招聘されるという喜ばしい出来事となった。

パリッとブラックスーツの瀬口さん。事務の堀田

が「ご主人様かっこいいですねー」と奥様に申し上げると、「それはもう昔、本当にかっこ良かったんですよー」と満面の笑みで答えられ、「参りました」と私たち。

支えあって輝く美しいご夫妻の側で、私たちのテンションが上がって行く。幸せなひと時をおすわけ頂いた。

その後に奥様から伺った「五十本のバラと大きな試験」次回にお伝えできればと思う。

### 地域福祉部第三者評価受審



サービス管理責任者

前田 明

愛隣館地域福祉部二ヶ所の生活介護事業所、愛隣倶楽部、愛隣館デイケアが第三者評価を受審しました。

利用者の皆様にはアンケートやヒアリング等ご協力を頂きありがとうございました。

今回受審したことでスタッフ全員が、法人の理念、職員の倫理綱領、愛隣館サービス基準等をあらためて確認し理解を深めました。また、提供しているサービスを細部にわたりチェックし、それぞれの事業所としての課題も明らかとなりました。

今後さらにサービスの質の向上を目指していきたいと思えます。

第三者評価の結果は左記の熊本県ホームページ

よりご覧頂けます。

[www.pref.kumamoto.jp](http://www.pref.kumamoto.jp)

ホーム ↓ 分類から探す ↓ 健康・福祉 ↓ やさしいまちづくり ↓ 地域の縁がわ ↓ 福祉サービス第三者評価 ↓ (第三者評価) (1) 障がい福祉分野

### アール・ブリュット

パートナーズ熊本総会

アール・ブリュット (生の芸術)

パートナーズ熊本事務局

納富 久

六月五日(金)に平成二十七年アール・ブリュットパートナーズ熊本 第二回総会がありました。くまもと県民交流会館パレアで行われた総会には、登録会員(一・二名)の中から五十七名の方にご参会頂きました。

総会では昨年度の事業報告・決算、今年度の事業計画・予算案、会則の変更について承認を受けました。

その後、作家ご家族の講演があり、アール・ブリュット作家誕生の生の声を



聞くことができました。  
アール・ブリュット パートナース熊本は、障害のある人々からの芸術活動支援を通して、誰もが社会で喜びある生活を送れるように活動を続けていきたいと考えています。

### J2 ロアッソ熊本サッカー観戦

ケア課

迎田 孝子

五月二十四日(日)、うまかな・よかなスタジアムで行われたロアッソ熊本 VS セレッソ大阪のサッカー観戦に招待を受け、入居者三名、職員三名で行って来ました。午後四時からのキックオフでしたが、ロアッソ熊本選手会のご厚意により、試合前に、全選手とのハイタッチ、タオルのお土産まで頂きました。

S 席のメインスタンドから見る、赤いユニフォーム姿で、相手のゴールに向かって走っていく選手に一喜一憂、手に汗を握る試合展開に、杉山さんや田中さん、西島さんも興奮されていました。



試合は、0対0の引き分けでしたが、力的には

上のセレッソ大阪に点数を入れさせなかった、ロアッソ熊本の迫力ある底力に、大変満足させてもらった一日でした。

### ぴあハウス八周年

五月七日(木)

の午後六時より、多機能型ホームぴあハウスの八周年記念会、及び、ぴあハウス昭和町の四周年記念会を入居者・ご家族、地区民生委員の吉田様、ぴあハウス昭和町の大家・三森様。愛隣荘施設長の三浦様、事務長の田中様。法人本部長の島田様に、お越し頂き計三十八名で開催しました。当日は、三浦貴子館長の開催の挨拶に続き、ぴあハウス入居者の今年度の自治会長・山下さんの乾杯の音頭で会は始まりました。



そして、記念会の特別メニューとカラオケで盛り上がり、館長提供の賞品をかけたジャンケン大会など、楽しいひとときになりました。

また、五月十日は母の日にあたり日頃の感謝を込めて、御来賓の女性、ご家族、館長へカーネーションの花束が贈呈されました。

### 施設親善オセロ大会準優勝

デイケア利用

吉本 やす代

六月十八日(木)、熊本市総合体育館で行われた施設親善オセロ大会に参加してきました。入居者の福原さん、杉山さん、熊本さん、愛隣倶楽部利用者の山下さんと私の五人で出場しました。愛隣館はBブロックで予選を行い、五勝一敗で決勝戦へ進みました。

決勝戦は、くまむた荘と対戦しました。途中、自分のミスに気付いて、ハラハラする場面もありましたが、何とか勝つことができました。

結果は、二勝二敗一分け、十八コマ差で、準優勝でした。

来年は優勝目指して、今以上に精進します。



『あいめーる』の企画・編集は利用者で構成された広報チーム、キャリアビジョンが担っています。

# 熊本県障がい者スポーツ大会



【開会式】

第十四回くまもと障がい者スポーツ大会(県など主催)が五月十八日(日)、熊本県民総合運動公園陸上競技場(うまかな・よかなスタジアム)などで開催されました。県内の知的・身体障害者計約八五〇人が七競技に参加。

愛隣館の利用者(四十五名)は、フィールド競技(ソフトボール投げ・ピンバック投げ・ジャベリックスロー・電動スラローム)、トラック競技(五十メートル走・百メートル走・千五百メートル走)に出場。

## フィールド競技



【ソフトボール投げ】木庭さん



【ビーンバッグ投げ】松島さん

←ビーンバッグ投げ  
大豆等を入れた重さ150g、12cm 四方の袋を投げる。  
足に乗せて蹴り出すなど、投げ方は自由。



【ソフトボール投げ】久留さん



【ソフトボール投げ】大富さん

ジャベリックスローロケット状の投擲物(ターボジャブ)を投げる競技。↓



【ジャベリックスロー】平野さん



【ジャベリックスロー】富田さん



【電動スラローム】山下さん

←電動スラローム  
全長 30m の直走路に置かれた赤白の旗門を前進、後進等しながら通過し、そのタイムを競い合う競技。



【1500M走】下田さん



【100M走】田中さん



【50M走】今坂さん

## トラック競技

熊本県障がい者スポーツ大会は、平成十四年度から「身体障害者体育大会」と「知的障害者スポーツ大会(ゆうあいピック)」を統合し開催されている。このため、全国障害者スポーツ大会の出場権獲得をかけた大会です。

愛隣館は、昭和六十三年の創設時より「熊本県身体障害者体育大会」(毎年参加を果たし、十七人の施設入居者、利用者が、全国身体障害者体育大会、全国障害者スポーツ大会へ出場しています)。

★新しい仲間★



入居者

永田 勝利

こんにちは、五月一日から入居した新人の永田勝利です???

十六年前まで兵庫県西宮に住んでいましたが、山鹿市に帰ってきて地域の人達の優しさが嬉しかったです。例えば、ひとりで食事に行っても、店員さんが介助して下さり気持ちよく過ごすことができるところです。

年々、身体機能が落ちて来ていますが、リハビリを頑張って行きたいと思えますので温かく見守って下さい。

皆さんよろしくお願ひします。



デイケア利用

上田 鉄也

私は山鹿市川辺鍋田団地に生活しております。

上田鉄也と申します。昭和二十七年一月三日生まれの六十三歳です。愛隣館には、本年三月始めよりお世話になっております。

愛隣館デイケアを利用するようになって一日一

日を楽しく過ごさせていただいております。月曜日は、パソコン教室に参加していますが、まだまだパソコンに振り回されつつ文字入力等に奮闘しています。

今後みなさまにはいろいろとお世話になると思いますがよろしくお願ひします。



愛隣倶楽部利用

杉焼 春奈

はじめまして。私は今春、松橋支援高校を卒業して、三月からお世話になっている杉焼春奈です。

わたしの好きな色は黄色です。ひまわりの花みたくて明るいからです。音楽をきいたり、ドラマを見るのも大好きです。休みの日にはカラオケや買い物にいくのが楽しみです。でも家が仕事で忙しいとなかなか行けないので、月一回のレクレーションが楽しみです。おしゃべりするの、好きなので、たくさん話しかけて下さい。みんなと仲良くなりたいです。よろしくお願ひします。

(代筆 母)

新人職員紹介



ケア課

荒木 将男

三月一日より愛隣館の一号館で勤務させて頂いております。荒木将男と申します。三月二十四日生まれ三十歳、趣味はゲーム、懸賞応募です。休日は家に引きこもっています。

前は、和木町の特別養護老人ホームに約六年、玉名地域保健医療センターに約三年ほど勤めていました。障害者支援施設は初めてなので、利用者の皆様やスタッフの方々にはご迷惑をかけていると思います。今までに培った経験や知識を生かして頑張っていきたいと思ひます。

どうぞよろしくお願ひします。



ケア課

永野 智子

私は、今年の二月から、働かせていただく事になりました。愛隣館で働く前は、約二年間、介護施設で働かせていただき、沢山の事を学び、沢山の出会いをさせていただきました。

愛隣館で働き、毎日、楽しく仕事をし、一日一日の大事な時間を、入所者の人達と過ごせる事に感謝の心を持ち、これからも楽しく仕事を頑張っていこうと思ひます。

まだまだ、入所者の方、職員の方には、ご迷惑をかけていますが、早く仕事にもなれて、早くみんなの名前を覚えるように、頑張っていきたいと思います。これからも、よろしくお願ひします。



愛隣倶楽部

本田 智子

二月から生活支援員として勤務しています。様々な職種を経験し、「人と接する仕事をしたい」と心底思うようになり、縁あって愛隣館で勤務することになりました。現在は愛隣倶楽部に勤務しています。日々勤務する中で感じた事は、利用者の方々・職員の方々の笑顔がとても素敵だということです。その笑顔に私自身が元気を貰い毎日楽しく仕事をさせて頂いています。これから、日々の生活を送っていく中で少しでも人の気持ちに寄り添える様な人になりたいと考えます。

今後も諸先輩方に学びながら仕事に邁進していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



相談員

坂田 照美

五月一日より、相談支援事業部の相談員として仕事をしています。

平成二十年十月に、三年の長期入院を経て愛隣倶楽部の利用者となりました。利用初日不安を抱えた私の目に飛び込んで来たのは、病気や重い障がいを持つ利用者の方の底抜けに明るい笑顔でした。

私は、利用者の方の笑顔の魅力に取り憑かれ色々なことに挑戦したいと思うようになり、目標を持って生活をするようになりました。

目標を持ったことで、自分の可能性を拡げることができ、障がいのある者の就労がまだまだ困難な中で、十八年振りに仕事に就くことができました。

障がい当事者として、利用者と一緒に近い存在の相談員になることを志命に、先輩方や利用者の方にご指導頂きながら頑張りたいと思います。

クローズアップ 愛隣館 ⑭

ホームヘルパー

野田 多記子

先日ぴあハウス創立八周年記念パーティーが盛大に、行われ、和気あいあいとした雰囲気の中で終わった。思えば私も八年目に入ったのかと感無量である。私は此処の箱入り娘ならぬおばさんなのである。



何故なら、入居の方を迎えに行く愛隣倶楽部の職員さん方と、毎月給料明細書

頂く為に行く事務所の方々へいろいろ知らず館内のどこに何があるか全く知らない。まあ良いかと今日迄過している。

ところで、入居の方々はそれぞれ自分に合った生活スタイルで毎日を過ごしているらしいです。それのお手伝いが少しでも出来ているのかな？入居の方々が心おだやかに元気に過ごして下さる事を常に思っています。

皆様：たまには、遊びにいらっしやいませんか、若い方は少ないけど個性的なおばさん達がお茶位出してくれますよ。ではごきげんよう!!

J A スイカの寄贈式

五月十五日(金)、J A 鹿本園芸部会よりたくさんスイカを届けて頂きました。贈呈は、愛隣の家で行われ法人愛隣園の各施設が集まり、スイカの贈呈式が行われました。

愛隣館からは、ディケアの田中鉄也さんと職員の方、丹精込めて作られたスイカを代表で受け取りました。

今年も例年同様、大玉で水分、糖分とも申し分なく愛隣館及び



デイケア、愛隣倶楽部では昼食の時間に、入居・ご利用者の皆さんに振る舞われ、美味しくいただきます。いつも、おいしいスィカをありがとうございます。

### 利用者と共に受章

総務省消防庁より 第二十四回危険業務従事者叙勲(消防関係)受章者が四月二十九日(水)に発令されました。

熊本県から八十四名の方が受章され愛隣館デイケアご利用の瀬口高典さんが消防功労(元熊本県山鹿鹿本広域行政事務組合消防司令)の部で危険業務従事者叙勲(瑞宝単光章)を受章され五月二十二日(金)熊本県庁にて伝達式が行われました。

受章者は、消防職員として国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するため、永年にわたり著しく危険性の高い業務に精励することにも消防力の強化、充実に尽力され、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与された方々に贈られるものです。



瀬口さんは「何よりの親孝行と嬉しく思います」と、受章の喜びを話されました。

おめでとございます。

また、平成二十七年春の褒章・藍綬褒章(総務省消防関係)を受章された三浦貴子館長は、五月十五日(金)東京・千代田区のスクワール麹町で行われた春の褒章伝達式及び皇居に於いて行われた天皇陛下への拝謁の様子を蒲島県知事に報告。

七月七日(火)には、愛隣館食堂に於いて、瀬口高典さんご夫妻、三浦館長が

叙勲・褒章を入居者及び利用者の方々に報告されました。

愛隣館を代表して自治会長の黒田敏文さん、デイケアを代表して福島和さんが花束を贈呈。お二人の受章を愛隣館全員で喜びました。



### 震災復興支援シャツ等協力事業

東日本大震災の被災地に居住する、障害のある人々、子ども達、難病の人々及びその支援を行う人々及び機関に支援金を送るため、地域と福祉施設のネットワークを生かした継続支援活動を行っています。

震災復興への長い道のりを共に歩こうをテーマに、五年目の支援活動に入る本年は、新色と長袖Tシャツを追加しました。

また、山鹿市在住のオール・ブリュット作家「松本寛庸」さんの協力により、アーティストシリーズ(シルクスカーフ・Tシャツ・エプロン)も制作。



左から:たまきな荘(玉名市)金和施設長、ありのまま舎(仙台市)白江施設長、館長、辻サビ管

障害者の就労事業所で制作される支援Tシャツ、ポロシャツ、エプロン等の詳細、及び、ご注文書は、愛隣館ホームページ「あいらんの風」でご覧いただけます。

(九州障害者支援施設協議会・震災復興支援事業) 支援Tシャツ、ポロシャツ、エプロン等の詳細、  
ホームページアドレス <http://aileans.com>

### 法人愛隣園理事会・評議員会

五月二十三日(土)午前、愛隣倶楽部にて社会福祉法人愛隣園理事会・評議員会が開催されました。平成二十六年度事業報告及び決算報告の二議案が審議され承認されました。

また、五名の新評議員に初出席頂いております。